

令和6年5月20日 (R6-003)

地方独立行政法人 岩手県工業技術センター

第23回インテリジェント・コスモス奨励賞を受賞しました。

(地独) 岩手県工業技術センター(理事長 熊谷 泰樹)醸造技術部の佐藤稔英主査専門研究員が「第23回インテリジェント・コスモス奨励賞」を受賞しました。この賞は、科学技術分野において優れた研究テーマを持つ将来有望な若手研究者、及び東北の産業支援に貢献する優れた研究技術の開発を行った研究者またはグループに対し、公益財団法人インテリジェント・コスモス学術振興財団から授与されるものです。

自然界から分離した麹菌の実用化研究では、明治期に発行された書物を参考に、県内の稲穂から採取した稲霊(いなだま)から県産椿の木灰を用いて「麹菌白椿」及び「麹菌紅椿」を分離し、酵素活性等性能評価や安全性確認を行い、県オリジナル麹菌として清酒製造へ実用化し商標登録しました。地域独自の麹菌選抜事例は大変希少な取り組みです。麹菌白椿は大吟醸酒、麹菌紅椿は純米酒や難消化性米への活用が期待できる特性を持っています。また、製麹時間の短縮が可能のため労働時間短縮・作業軽減につながります。これらの麹菌は、株式会社秋田今野商店(秋田県大仙市)から令和3年度より麹菌白椿は「Roots36」、麹菌紅椿は「Oriza1061」の名称で全国の酒蔵向けに販売されており、これまでに全国39県のべ203の酒造場で使用されています。これらの功績が認められ受賞となりました。

詳細につきまして、是非ご取材をお願いいたします。

受賞名	第23回インテリジェント・コスモス奨励賞
研究テーマ名	自然界から分離した麹菌の実用化研究
受賞者	佐藤 稔英(さとう なるひで)(地方独立行政法人岩手県工業技術センター)
表彰日	日 時：令和6年5月10日(金) 会 場：ホテルメトロポリタン仙台



この内容へのお問い合わせ先
担当：醸造技術部 佐藤 稔英